

第21回 議会のあり方調査特別委員会 会議概要

【開催日】 平成28年5月16日

【開催場所】 第1委員会室

【会議時間】 午前10時～午前10時38分

午前10時50分～午前11時14分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河崎平男
委員	石田清廉	委員	伊藤 實
委員	河野朋子	委員	下瀬俊夫
委員	松尾数則		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義	副議長	三浦英統
議員	岡山 明	議員	吉永美子

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
------	------	-------	------

【調査事項】

- 1 議員定数について
- 2 議員報酬・政務活動費について
- 3 その他

【会議の概要】

- 1 議員定数について

議員定数について、前回に引き続き協議した。

委員の主な意見

- 会派誠風は、会派で調整した結果、あり方特別委員会で6人はあり得ないということが決定したので、「7人か8人」で考えると22人とした。
- 22人と25人ということなので、この二つについてできるだけ早く

結論を出すべきだ。

- 理想とする部分について全会派一致で決めたが、これがどうなったのか。
- 25人という理想は是非残してほしいが、条例は24人を22人としたほうがいい。
- 25人という表現になると数が増えるので、若干の違和感がある。
- 前文の理想等については削除して、定数22人というきっちりした条例にすべきだ。
- 山陽小野田市議会の定数は25人が理想ということで一致した。変更する根拠を示さないと駄目だ。
- これまで類似団体とか、人口などで定数を考えていたが、議会の機能というところから何人が適当かという考えに変わった。あの時点で理想と掲げたが、2年間の検証で7人でも議論ができるという実感の下、7人掛ける3常任委員会ということで、まとまっていると思う。当初の条例で理想として掲げた前文は意味があるとは思いますが、この2年間の実績を踏まえた上で、条例はすっきりしたものにすべきだ。
- 「22」に変えるが、理想の25は何らかの形で残すということで合意できるなら、全会一致のほうがいい。→ 25という数字がどこかに残れば基本的に問題ない。
- そのときの理想は25であったが、理想の数字というのは固定すべきではない。2年に1度、市勢に応じて必要な議員定数の見直しをするというような文章ではどうか。理想という数字を一定した数字で上げるべきではない。そのときに必要なあるべき数字を理想というように理解したら、数字は必ずしも必要ないのではないか。その都度検討し、ふさわしい定数を見直していく。

結論

各会派に再度持ち帰り意見調整することとした。

- 2 議員報酬、政務活動費について
資料の説明を事務局で行った。

資料 1・・・政務活動費使途基準（例）。他市の例を参考にして作成したもので、本市の基準ではない。

資料 2・・・芽室町議会改革諮問会議設置条例。委員 5 人以内で構成、議員は入らず、町民 5 人、任期 2 年。6 項目について諮問し、25 年度と 26 年度の 2 年間にわたり検討を重ね、答申した。

資料 3・・・会津若松市の例。公募の市民 2 名と議員 7 名で検討委員会を設置。平成 21 年 1 月から 2 年間にわたり 28 回検討し、5 項目について答申。28 年に新たに委員を公募した。

結論

附属機関の設置方法について、各会派に再度持ち返り意見調整することとした。

3 その他について

次回開催日を 6 月 2 日（木）10 時からとした。